

# 令和元年度病害虫発生予察注意報第7号

令和元年10月31日  
愛知県

作物名：トマト

病害虫名：コナジラミ類

- 1 発生地域 県内全域
- 2 予想発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

10月下旬に行った巡回調査において、成虫寄生枝率が8.1%（平年2.0%、前年2.1%）で過去10年と比較して最も高く、発生ほ場率は42.9%（平年27.7%、前年28.6%）で、過去10年と比較して3番目に高かった。

#### 4 防除上注意すべき事項

- (1) 施設内への侵入を防ぐため、開口部に防虫ネット（目合い0.4mm以下）を展張する。
- (2) 表を参考に防除する。薬剤抵抗性の発達を防ぐため、IRACコードが同じ薬剤を連続して使用することは避ける。
- (3) 花粉交配用昆虫を利用する場合は、影響日数に注意して農薬を選定する。
- (4) タバココナジラミはトマト黄化葉巻病の病原ウイルスを、コナジラミ類はトマト黄化病の病原ウイルスを媒介する。ウイルスの発病株は見つけ次第抜き取り、適切に処分する。

表 トマトのコナジラミ類に対する主な防除薬剤

薬剤名	成分名	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード
アニキ乳剤	レピメクチン	収穫前日まで	3回以内	6
アプロードエースフロアブル(※1,2)	フェンピロキシメート・ブプロフェジン	収穫前日まで	3回以内	21A・16
コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	収穫前日まで	3回以内	9B
ベネビアOD	シアントラニリプロール	収穫前日まで	3回以内	28
グレーシア乳剤(※2)	フルキサメタミド	収穫前日まで	2回以内	30
コロマイト乳剤(※2)	ミルベメクチン	収穫前日まで	2回以内	6
ディアナSC	スピネトラム	収穫前日まで	2回以内	5
トランスフォームフロアブル	スルホキサフロル	収穫前日まで	2回以内	4C

(※1) アプロードエースフロアブルはミニトマトに未登録。

(※2) 成虫に対する殺虫効果が低い。

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、[https://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2019/mechanism\\_irac03.pdf](https://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2019/mechanism_irac03.pdf)を参照する。薬剤散布の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

#### 5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471